

# YELL 先輩からのメッセージ

～令和2年度(2020年度)初任者研修・新規採用者研修を受講される皆さんへ～

昨年度、初任者研修・新規採用者研修を受講した先輩からのメッセージです。一年間、子どもと向き合い、自分と向き合ってきたからこそその熱い想いが込められたエールです。

## 小学校

教員採用試験合格おめでとうございます。

一年前を思い出すと、教員になりたいという夢が叶い、早く子どもに会いたいとわくわくする気持ちと、教員としてやっていけるのだろうかという不安な気持ちが入り混じっていたのを思い出します。

最初は普通の授業準備に加え、校務分掌、事務作業、会議などの多さ、さらにその内容が全然分からないことへの戸惑いがありましたが、それ以上に子どもたちと過ごす日々がとても楽しく、先生という仕事はやはり素敵だなと感じています。しかし、しんどいなと感じる時もあります。そんな時は周りの先生方に相談してみてください。私も日々、周りの先生方に親身になって話を聞いてもらいながら頑張っています。

教員としてまだまだ未熟な私ですが、子どもたちが成長していく姿を間近で見られる教員という仕事に誇りを持ち、私も子どもたちと一緒に教員として成長していきたいです。

## 小学校

年度初めは不慣れなことがたくさんあり、正直この時期がしんどかったです。何も分からないまま授業をし、すぐに運動会がありました。しかし、周りの先生方の支えのおかげで乗り越えることができました。「分からないことは当たり前だよ。」といつもおっしゃってください、嫌な顔一つせず教えてくださいました。その時に、学校全体のチームワークを感じ、支えてくださる先生方のありがたみを感じました。

初任者の皆さんもたくさんの希望とともに不安も抱えていると思います。現場に出た時、とても大切なことがあります。それは「報告」「連絡」「相談」です。何事も分からないことがあれば相談したらいいと思います。現場の全ての先生がたくさんのことを教えてくださいます。初任者・新規採用者の方には「一人じゃない」ということを伝えたいです。

## 小学校

私は新卒で社会人としても教師としても右も左も分からない状態の不安の毎日で4月1日を迎えました。「何が必要なんだろう」「どんな子どもたちなんだろう」と思い悩む毎日でした。私は1年生の担任をしましたが、子どもも私も真っ白な状態で、毎日必死でした。その中で、子どもたちの「おはよう、先生。」といった声かけが、自分の中で「この子どもたちの先生なんだ。しっかりしないと。」と先生である自覚と子どもたちと生活することへの喜びを感じました。

きっとたくさん思うことを抱えながら新しい学校に赴任したと思いますが、何も心配することはありません。たくさん素晴らしい先輩方もいて、たくさんためになる助言をしてくださいます。声はかけなくてもみんな見てくれています。困ったときは勇気を出して、助けを求め、悩みを吐き出しましょう。

最後に、私が言われて肩の荷が下りた言葉を紹介します。「初任だからたくさんチャレンジして失敗していいんだよ。分からなかったらたくさん聞けるのは初任の特権。」私も本当にそうだと思います。自分に自信をもって何事も頑張ってください。一緒に頑張りましょう。

## 小学校

時にはしんどくなることもありましたが、日々、子どもに勇気づけられる一年間でした。子どものもつ純粋な優しさと頑張りを見ると、自分もなんだか頑張れるような気がしてきます。そんな素敵な仕事でも、一人で頑張り続けることはやはり限界があると思うので、そんな時は周りの先生方に相談してみてください。目標とする先生や一緒に困ってくれる先生、背中を押してくれる先生、背筋を正してくれる先生。たくさん素晴らしい先輩が職場にはいるはずです。先生という仕事はチームで成り立っています。周りの先生方に恩返しができるよう、今だけはたくさん甘えさせてもらいましょう。

## 小学校

他校で支援学級担任としての勤務経験はあったのですが、学級担任をするのは初めてでした。4月の初め、どのように授業や子どもを迎える準備を進めればいいのか全く見通しが立たず、どのくらいの時間がかかるかも見当がつかない中で始まりました。正直、不安と目の前の仕事に追われる毎日でした。でも、分からないことは先輩教員や指導教員、管理職の先生に尋ね、真似をして一つずつ進んできたように感じます。そして、一年間を通して思うことは、本当にいろいろな方への感謝の気持ちを感じた日々だったということです。

準備や保護者の対応で困っている時、周りの先生方はいつも相談に乗ってくださり、時に

はいっぱいいっぱいな私に代わって話を進めてくださいました。それと同時に子どもや保護者の方にも助けられ、支えられた一年間でした。「先生、こんな時はこうしていたよ。」「僕、行ってきてあげようか?」と教えてくれた子どもたち。いつも「ありがとう、助かるよ。」と伝えていました。気づいたことを伝え、支えてくださった保護者の方のおかげで成長することもできました。

目の前の新しいことに期待と不安でいっぱいだと思いますが、周りの方々への感謝と子どもたちの幸せのために頑張る気持ちを忘れずに、毎日進んで行けば大丈夫だと思います。一緒に頑張りましょう。

## 小学校

今、教師になるという夢が叶ってうれしい気持ちと、どんな学校でどんな子どもたちだろうというドキドキと不安でいっぱいだと思います。初めは、授業研究や校務分掌など覚えることやしなければならぬことがたくさんあってとても大変だと思います。特に授業は毎日あるので、授業づくりにはかなりの時間がとられ、自分のペースをつかむまで時間がかかりました。でも、学校には助けてくださる先生方がたくさんいます。授業の方法も校務分掌も子どもへの叱り方もいろいろな先生からアドバイスをもらい、たくさん授業を見て勉強していくといいと思います。何度でも分からないことを聞けるのは初任者の特権です。今のうちにたくさんのお話を吸収して、自分の引き出しをいっぱいにしてください。そうして、がんばって考えた授業に子どもたちが楽しく取り組んでいる姿を見るととてもうれしいし、「わかった!」という言葉にはとてもやりがいを感じます。

教師という仕事は大変なこともあるし、とても忙しいです。しかし、大好きな子どもたちとずっと一緒にいられ、毎日の小さな変化をすぐそばで見届けられるとても素敵な仕事です。そんな職場でこれから一緒に働けることを楽しみにしています。

## 小学校

学校に赴任してすぐに職員会議、入学式、始業式、学級開き・・・何を行えばよいのか分からない状態で焦りばかりが積みあがっていくと思いますが、分からないことを隠さず、先輩、保護者の方々、いろいろな人に教えてもらいながら一歩ずつ進んでいってください。

たくさん失敗や後悔もありますが、たくさんのお話を学べる一年だと思います。指導してくださる方の存在に感謝をして、どんな言葉もまっすぐに受け止めてください。社会人としての真摯さと謙虚さをもって、「教えてあげよう」とかわいがってもらえる後輩になってください。

新しい世界が広がる一年を不安だけで過ごさないで、子どもたち、保護者、先輩方、同期と一緒に失敗も成功も思いっきり楽しんでください。心より応援しております。

## 小学校

修学旅行、運動会、学習発表会など行事があるごとに同じ目標に向かって一致団結していく子どもたち。日が経つにつれ、手の挙がる数が増えていき、「先生の授業楽しい。」と言ってもらえた学習の時間。「先生、相談してもいいですか？」と自分の思いを素直にぶつけてきてくれる子どもたち。いつの間にか私の周りにはいつも子どもたちがいっぱいいて、クラスみんなが笑顔いっぱい毎日楽しい日々を送ることができました。さらに、子どもたちがどんどん成長していく姿も見られるようになりました。

私はこの一年間、毎日大変でつらいなと思ったこともありました。でも、そんなことが吹き飛ばすくらいうれしいこともありました。教師の仕事のいいところは「子どもの成長を近くで見ることができる場所」だと思います。毎日一緒にいるからこそ、少しの変化でもうれしくなります。大変な仕事もありますが、子どもと一緒に私も成長させてもらった一年だったと思います。

初めは悩みと不安でいっぱいだと思います。でも、あきらめずに進めば、必ず子どもたちと素敵な時間が過ごせると思います。毎日笑顔を忘れずに頑張ってください。

## 小学校

一年前の自分がどんなことを考えていたのか思い返すと、期待よりも不安の方が大きかったように思います。この一年間、何が分からないのかも分からない中で、周りの先生方や管理職の先生にたくさん助けいただきました。私がとにかく心がけてきたことは「分からないこと、疑問に思ったことはすぐに周りの先生方に質問する」ということです。どんな些細なことでも疑問に思った時は聞くということを心がけることで、学年ですぐに共有でき、トラブルもほとんどなく過ごすことができました。一人で考え、悩むのではなく、すぐ質問することを是非、実践してみてください。

他には授業でも行事でも子どもと同じくらい、あるいはそれ以上に楽しむということを意識していました。「先生たのしそうやなあ」と感じてもらうことで、クラスの雰囲気も良くなり、みんなで楽しめるということが何度もありました。

忙しくてつらいことや、しんどいと感じることもありますが、その度に子どもたちの笑顔を思い出して、子どもとともに少しずつ成長していけるように私自身も今後もさらに頑張りたいと思います。

## 小学校

この仕事に就いて、報告・連絡・相談の大切さを痛感しました。何かに悩んだり迷ったりしても決して一人で抱え込まないでください。分からないことだらけで、質問してよいのかどうか、何を質問すればいいのかさえ分からない時もあり、一人で考え続けてしまうことがよくありました。しかし、それでは不安感が大きくなるだけで、解決策にはたどり着けませんでした。周りには相談できる仲間や先輩方がいます。不安なことに出会った時は報告して相談することで、その不安感が和らぎ、解決するヒントを得ることができました。周りの先生方は温かく見守ってくださり、困っている時には一緒に考えてくださったり、アドバイスをくださったり、励ましてくださったりと、とても親身になってくださいます。そんな先輩方の姿から教師としてだけでなく、社会人としての在り方も学ぶことができました。また、今のうちにたくさん失敗して、成長できるように前向きに頑張ろうと思うことができた気がします。前向きになれない日もあります。しかし、そんな時こそ失敗を恐れず、勇気を出して質問したり挑戦したりする姿勢を大切にしてほしいと思います。

## 小学校

大学を出ていきなり教師という職の道、「学校」の世界に飛び込んできたものの、はじめは分からないことだらけで、不安になることも多いと思います。実際、私もそうでした。分からないことが分からない。「あっ、こうしないとイケなかったんだ。」「こうすればよかったのか。」と後になって気づくことが何度もありました。でも、それも勉強です。徐々に「学校」というものに慣れ、担任として必要な仕事分かり、学校の日が分かり、授業づくりが分かり、そんなふうにして少しずつ学んでいくことが大切なのだと思います。子どもたちにいろいろなことを教えたり伝えたりしていく立場ではあるけれど、それと同時に、子どもたちと一緒にあって自分も大きく成長できる一年になると思います。そこにやりがいを感じ、かわいい子どもたちから日々パワーをもらいながら、ともに成長できるようお互い頑張りましょう。

## 小学校

私がこの一年で強く感じたことは、とにかく早めに報告・連絡・相談することの大切さです。はじめは分からないことばかりで不安な気持ちが強いと思います。それは誰もが通ってきた道であり、当たり前のことです。だからこそ、分からないことは素直に「分からない」と伝えることが大切です。そうすれば必ず周りの人が手を差し伸べてくれます。その時にもらったアドバイスはいろいろな場面でいかせると思うので、どんどん自分のものにしてい

ってください。

また、いろいろなことにチャレンジすることも大切だと思います。たくさん失敗できるのは今の時期の特権だと思います。私は、「失敗することは悪いことではない。それを次の成長につなげていけばその失敗にはすごく価値がある。」とこの一年、何度も子どもたちに伝えてきました。それと同時に自分もいろいろなことに挑戦し、失敗し、また挑戦する姿を子どもたちに見せてきました。そうやって大人も失敗するのだということを体現することは、子どもたちのチャレンジ精神や自己肯定感につながると思います。自分のためにも子どもたちのためにも積極的にいろいろなことに挑戦してほしいです。

私もまだまだできないことだらけですが、ともに頑張っていきましょう！

## 小学校

きつといい意味でも悪い意味でも忘れられない一年間になると思います。

私の辛かったことはたくさんありますが、そのうち3点だけ紹介します。

1点目はどこで叱ればいいのか分からないということです。子どもの指導には、反射のようにその場で「それはダメ！」と伝えなければならないこともあります。そこで私は数秒迷ってしまうことが多々あり、指導しなければならないところで指導できていませんでした。

2点目は自分の授業がおもしろくないことです。隣のクラスの先輩の先生はとてもおもしろい授業をしています。授業の仕方も具体的に教えていただいています。ただ、同じようにやっても私の授業は面白くなかったのです。緊張のしすぎや、固くなりすぎて・・・というのもありましたが、経験がないのと教材研究をする時間が少なく、分からないまま受け売りでしてしまうからです。自分の理解がついていかず、深まらないで授業をしても子どもを引きつけることはできません。

3点目は見通しがもてないことです。突然やらなければならないことがどんどん増えてきて、自分の計画すら覚えきれません。一つずつこなしているつもりでもやることは減らず、やることはどんどん増えていきます。

一学期なんて一週間に一回は泣いていましたし、一日を乗り越えることが日々の目標でした。そんな私ですが、今年一年を振り返ってみると、不思議と辛いことより幸せなことが多かったです。子どもと向き合うことで、一緒に遊ぶことで、たくさん話すことで、気持ちは伝わります。努力することが多い分、返ってくるうれしさも大きいです。本当に本当に大きなプレゼントが子どもたちからたくさん返ってきます。うれし泣きで、子どもの前で「先生になれてよかったー！」と喜んだこともあります。

自信がなくて当たり前で、分からないことが分からない一年目です。周りの頼れる先輩方にたくさん頼って教えてもらってください。いっぱい悩んで、いっぱい考えて、いっぱい愚痴もはいて乗り越えてください。

## 小学校

期待を胸に初任者として1年目をスタートしましたが、現場では思うように学級運営が行えず、問題を引き起こす子どもが目立つようになりました。どうして子どもたちは自分の言うことを聞いてくれないのか解決策が分からず、悩み苦しむ中で、いつの間にか「言うことを聞いてくれないのは自分ではなく、子どもたちが悪い」と考えるようになっていました。そんな時、心の支えになったのが同じ現場で働く先生方や子どもたちからもらった温かい励ましの言葉でした。学校を休んだ翌日、数人の子どもたちが「先生ー！」と駆け寄ってきて、手作りのお手紙をくれました。「自分のことを信頼してついてきてくれている子どもがいるのに、このままではいけない、自分自身が成長していかなければ」と強い使命を感じました。

振り返れば、うまくいかないことだらけの1年でしたが、最終的には全て自分自身の問題として捉え、相手に寄り添うことで、子どもたちとの絆を感じる瞬間が何回もありました。1年目は大変なことがたくさんあると思います。しかし、自分の周りには支えてくれる優しい人がたくさん存在し、自分の成長を感じる瞬間が必ずあります。みなさんのこの1年が子どもたちとともに大きな成長を遂げる飛躍の年となることを心から願っています。

## 小学校

私は教師として子どもたちの前に立つためには「完璧でなくてはならない」と思っていました。子どもの前で失敗したり、弱い部分を見せたりしたら教師として失格だと思っている自分がいました。そんな思いで子どもの前に立ったら当然うまくいかないことも多くあり、その度に落ち込んでいる自分もいました。そのことを先輩の先生に相談したら、「失敗してもいい」「先生が失敗するから子どもも自分の弱さを出していい」という私にとって勇気をもたらす言葉ばかりをいただきました。私はその日以降、自分の弱さも失敗もさらけ出していくようにしました。そうしたら案外、子どもたちは温かく、優しく受け入れてくれている気がしました。失敗してもいいと思ったら気持ちが楽になり、余裕をもって子どもと関わるができるようになりました。毎日働いていたらうまくいかないことの方が多いですが、子どもたちがたくさんのお話を教えてくれるし、子どもから学ぶことは本当にたくさんあります。毎日、子どもたちがいてくれるからがんばろうという気持ちをもって先生の仕事を続けることができます。1年前、大学4年生の私が思い描いていた「先生とは完璧でなくてはならない」という教師観はこの1年間で薄れ、子どもと一緒に成長していけて、やりがいが多いこの仕事に誇らしさを感じています。かわいい子どもたちが待っています。ぜひ、一緒にがんばっていきましょう。

## 小学校

教員として最も重要なことは、「学ぶ心」です。教え方を学ぶ、接し方を学ぶなど、子どもに教えられながら自らも教わっていきます。今まで学んできた一人ひとりの経験を大いに活用しながら、積極的に様々なことを学んでいってください。それが日々の積み重ねになり、1年後、5年後、10年後、みなさんにとって大きな財産となります。教員が「学ぶ心」をもって苦手なことに挑戦し、得意なことを伸ばしていく姿は必ず子どもたちに伝わります。それが生き方の見本（ロールモデル）となり、将来を考えるときの従業な指針ともなります。

正直、身体的、精神的にしんどいこともあるし、「割に合わない」と感じることも出てくるでしょう。その時に支えになるのは、同期、先輩、家族、友だちなど、みなさんの周りにいる人たちです。「できないことは恥ずかしいことではない。分からないことを分からないと言える勇氣こそが大切だ。」と子どもには常日頃から伝えていきます。自分だけで解決しようとせず、困ったら勇氣をもって相談することを心がけてください。この1年が素敵な年になることを願っています。

## 小学校

この仕事をして思うことは、全体を10とした時に、9しんどく、1楽しいということです。日々の授業や保護者対応、地域行事などの業務に追われることが多く、「何のために教師になったのか」を考えることも正直あります。けれども、子どもたちの小さな成長が垣間見えた時、言葉では言い表すことのできない嬉しさに包まれます。その嬉しさのために日々がんばっているのだと感じます。

赴任して間もない頃は「何をしたらいいのか」、「誰に相談すればいいのか」、「相談してもいいのか」など迷うことばかりだと思います。しかし、遠慮しては何も始まりません。はじめは分からなくて当然です。諸先輩方に積極的に「報告・連絡・相談」しましょう。

そして、業務に追われてばかりいると自分を見失ってしまうこともあります。プライベートの時間も大事にしてほしいと思います。休みの日は十分に休息をとり、心と体に余裕を与えてあげましょう。そして、思いっきり遊んでほしいと思います。思いっきり遊べば、いい仕事もきっとできるはずです。

志高き初任者の方々、今、胸に秘めている志をいつまでも忘れることなく、がんばってください。

## 小学校

私は講師で担任をしていた経験がありましたが、初めて担任をした時には何が分からないのかが分からない状態でした。教師としての資質は先輩に聞いたり、周りを見て学んだりして補ってきました。

採用試験に合格してからは初任者研修で多くのことを学ぶことができました。子どもへの声のかけ方やいじめ問題、先生がもっておくべき資質などをとても丁寧に教えていただきました。その研修を受けて、「今までしてきたことはよかった」と再確認できたり「もう少しこうしたらよかった」という反省点を見つけたりすることができました。初任者になって一番良かったのは、初任者同士でのワークの時間です。その時に同じような悩みをもっていたり、困っていることがあったりといった経験を共感し合えたのがとても充実した時間でした。同じ立場の人たちと話すことによって気持ちが楽になることもありました。研修が多いように感じたり、クラスを自習にしたり、不安なこともあるかと思いますが、研修の時間は決して無駄ではありません。がんばってください！

## 小学校

私が伝えたいことは大きく2点あります。

1点目は分からないことや不安なことがあったら先輩の先生方に自分から教えていただくとする姿勢を大切にしてほしいということです。同じ学校には素敵な先生方がたくさんいらっしゃいます。忙しそうにされている先生に声をかけるのは勇気が必要ですが、話しかければきっと自分に合った方法を考えてください。自分から授業を見せていただけるようお願いすることで、学級経営や教室環境の作り方も学ぶことができ、本当に勉強になります。直接、お話することで、人間関係もつくられていき、その先生の人柄の良さにも気づくことができました。

2点目は子どもから学び、自分の強みをいかすことです。私も最初の方は「私と違って、なんでこんなに指導が行き届いているのかな。」と先輩の先生方と自分を比較して落ち込むことばかりでした。比べて落ち込むのではなく、何事も子どもに寄り添い、ひたむきな姿勢で自分の強い思いをもち続ければ、子どもとの大きな信頼につながると感じました。私はたいして得意なことがないものの、休み時間には子どもと毎日外で遊んでいます。このことで授業時間以外の子どもの様子を知ることができ、変化に気づきやすくなりました。私も笑顔を忘れず、学び続ける教員としてがんばります。

## 小学校

きっとこれからいろいろなことが起きると思います。一人では抱えきれないぐらい悩んだり、しんどかったり・・・でも、必ず助けてくれる先輩がたくさんいます。そんな時の解決策を知っている、そんな経験をたくさんされた先輩がいます。私も初めはこんなことを聞いてもいいのかな？と聞きに行くこと、相談することをためらっていました。しかし、自分で悩んでいて解決できる時もあればできない時もあります。自分では小さなことだと思っていたことがそうではなかった経験があります。どんな小さなことでも相談して解決しましょう。逆にうれしいことや楽しいこともたくさんあります。そんな時も一人ではなく、たくさんの先生や子どもたちと共有してほしいなと思います。きっとそういう所からコミュニケーションが取れたり、自信にもつながったりすると思います。

まだまだ、私自身もがんばらないといけないところばかりですが、これから豊能地区の教員として、ともに成長していけたらなと思います。

## 小学校

4月になると次々と話が決まり、何が何だか分からないまま話が進んでいきました。でも、周りには優しい学年の先生や、「分からないことはある？」と聞いてくれる同じ学校の先生がいました。分からないときには「分かりません。」と正直に言ったり、「今、ここで悩んでいます。」や「悩んでいるところがわからないです。」と伝えたりすることで、少しずつ職場の人と繋がっていけます。子どもとの関係も同様です。不安なこともあると思いますが、私は分からないことは「今まではどうしていたの？」や「これはどうするの？」と子どもに聞きました。すると、子どもは自分たちの知っていることを教えてくれました。

不安なのは大人も子どもも同じです。「次の先生はどんな先生かな？」や「いっぱい遊んでくれるかな？」、「どんなクラスになるかな？」と楽しみに待っていると思います。子どもたちと信頼関係がしっかりできると授業もなんとかなります。始まってすぐは慣れない環境で緊張してとつても疲れます。私の場合は丸付けや連絡帳の確認は朝の時間や給食準備中に行い、業間休みは必ず外に出て一緒に遊びました。皆さんも子どもたちのその期待に応えてほしいです。

## 小学校

自分が先生としてスタートした4月1日、楽しみと不安と緊張で複雑な思いでいました。初めて自分の教室に入った時、「ここに子どもたちが来るんだ。」「ここが初めての自分のクラスになるんだ。」と、とてもワクワクしたことを今でも覚えています。

しかし、いざ始まってみると多忙な毎日でした。教材研究から子どもの指導、全てにおいて学級担任としての責任がついてきました。正直、最初はつらいこともあるし、しんどいなと思うこともあります。でも、子どもの小さな成長が見られたり、授業中に子どもが楽しそうにしている姿が見られたりすると、やって良かったな、この仕事は楽しいなと思います。

慣れるまで大変なこともあります。続けていけば「もっと子どもたちのために工夫したい！もっと頑張りたい！」ときっと思えます。そんな思いになれる先生という仕事は本当に素敵な仕事だなと、この一年を通して思うことができました。「教師は学び続けるもの」この思いを大切に、私も学び続けます。

## 小学校

この一年間は右も左も分からず、できないことばかりで、壁にぶち当たるばかりの年になりました。その反面、温かい先生方や子どもたち、心を許せる同期に出会うことができたとても充実した一年でもありました。こんなに温かい人たちと仕事ができるというのは教師という仕事の特権ではないだろうかと感じています。

今年度、初任者となる皆さんはこれからたくさんの素敵な出会いがあると思います。その出会いを大切に、ともに教師として切磋琢磨していけたらいいですね。

## 小学校

私が今年度の中で印象に残っているのは、初任者指導の先生に3学期に言っていたいただいた「子どもたちが変わってきたね。」という言葉です。

1年間を通してクラスを担当する中で、子どものできない部分や、しんどい部分にばかり目がいってしまい、「どうしてもっと上手に教えられないんだろう。」「自分の伝え方や接し方に問題があるのでは。」などと思い込んで、子どもを褒めるべきところで褒められていないというところもありました。しかし、初任者指導の先生にそう言っていて、あらためて客観的にクラスの児童を見ると、一年間を通して成長した部分がたくさん見つかりました。

慣れないことや分からないことばかりで、どうしても視野がせまくなってしまっていますが、しんどいときこそ現在のクラスの子どもたちをしっかりと見てあげることが大切だと感じました。

## 小学校

私はこの一年間で何度も壁にぶつかりました。1学期はうまくいかないことが多く、目の前の子どもたちに会うことさえ辛くなる日が多かったです。泣き崩れてしまった時には先輩方が職員室からそっと空き教室に連れて行ってきて、頷きながら最後まで話を聴いてくださいました。その他にも分からないことを何度も質問したり、授業を見せていただいたりとたくさんお世話になりました。そんなことが許されるのも初任者の特権だと思います。

きっと皆さんが赴任された学校にも皆さんのことを支えてくださる素敵な先輩方がたくさんいます。どんな些細なことでもぜひ相談してみてください。きっと成長できるきっかけにもなるでしょう。また、周りの先輩方だけでなく、同期の存在も大切にしてください。自分の気持ちに一番共感してもらえるのではないのでしょうか。

私はこの春から社会人・教諭として2年目を迎えます。多くの人と「ともに学び、ともに育つ」ことができるのがこの職業の素敵どころです。初心を忘れずに、素敵な先生になってください。一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 小学校

4月は初めての学校で、1年生を担当することになり、入学式までは「子どもも私も初めての学校生活で本当に大丈夫なのかな。」と不安と緊張でつぶされそうでした。しかし、入学式でかわいい子どもたちと出会い、子どもたちと一緒に楽しみながら成長しようということを目指して4月がスタートしました。幼稚園・保育所などから上がってきたばかりの子どもたち。最初は自分の名前を見本を見ながらひらがなを書く練習から始まりました。そんな子どもたちは今、ひらがな・カタカナを勉強し終え、漢字を勉強しています。4月に比べてたくさんできるようになりました。毎日、接しているとなかなか成長に気づくことができているませんが、振り返ると4月からは考えられないほど心も体もたくましく成長しています。

これまで頑張ってきたのは周りの先生の支えがあってこそだと日々感じます。不安なことや分からないことがあれば、いつも優しく教えていただいたり、見えない所でフォローしていただいたりすることで毎日頑張ることができました。一人で抱え込まず、困ったことがあれば誰かに相談してください。なんでも聞けることが初任者の特権だと思います。

## 小学校

とにかく困ったり、悩んだりした時は一人で抱え込まないでください。「こんなこと相談していいのかな。」や「こんなこと聞いていいのかな。」と遠慮してしまい、誰にも頼らず一

人で進めていくと状況は悪くなるばかりです。私は、些細なことでも気になったことや悩んでいることは先輩に相談するようにしました。先輩も嫌な顔一つせず、いつも親身になって話を聞いてくれました。相談することで「この悩みをもっているのは自分だけではなかったんだ。」と気づけたり、「この授業はこういう進め方があるんだと。」と勉強になったり、子どものことで困ったことがあった時は学年チームで話を聞いてくれ、皆さんで動いてくれたこともありました。

学校は日々、子どもたちの成長を感じることができ、本当に充実した仕事だと感じていますが、仕事だからこそ悩みやトラブルは絶対に起こります。その時に周りに相談できるかできないかは大きいと思います。是非、遠慮せずに困ったときは周りを頼ることを忘れないでくださいね。

## 中学校

教師の仕事は何か一つの能力が秀でているからできる仕事ではないと思います。教科指導力はもちろん、生徒指導力、問題解決能力、コミュニケーション能力、相手の話にしっかりと耳を傾ける力・・・など、必要な能力を挙げるときりがありません。授業をすることだけでなく、非常に多岐に渡る仕事をこなさなければいけません。しかし、だからこそやりがいがあるし、一生懸命頑張っている先生の姿に子どもも魅力を感じるのではないかと思います。人を育て導くという仕事はとても難しいですが、授業がうまくいなくても、話し方がつたなくても、常に全力で子どもに向き合っていれば、きっとこちらの想いは伝わると信じています。ありきたりな言葉ですが、子どもと一緒に自分自身も成長できる仕事です。今は期待と不安で胸がいっぱいだと思いますが、4月から子どもと一緒に充実した日々を送れるかどうかは自分次第です。一緒に頑張りましょう。いつかどこかでみなさんと一緒に子どもたちに関わることができる日を楽しみにしています。

## 中学校

印象に残ったことは、子どもは教師のことをよく見ているということです。いいことも悪いことも含めてよく観察しています。こちらが心を開けば、心を開いてくれるでしょうし、こちらが心を閉ざせば、心を閉ざすでしょう。教師の言動一つで子どもたちは様々なことを判断します。子どもに恥じることのない行動ができるよう常に意識してください。また、楽しい時には一緒に笑い、辛い時には一緒に悲しみ、いろいろなところで共感しながら日々過ごしてもらえればと思います。これから様々なことで悩み、苦しむことがあるかもしれませんが、そんな様子も含めて、子どもたちは見えています。一人で抱えることがないように、周りの同僚と協力しながら乗り越えていってください。

## 中学校

ある日、保護者の方と夜遅くまで話し合いをしていた時、私が職員室に戻ると、私のことを心配して下さっていた学年の先生方は誰一人帰ることなく職員室で待っていてくださいました。次の日には、他の学年の先生方から「お疲れ様」「頑張れよ」とねぎらいの言葉と差し入れをいただきました。

辛いこともたくさんあるかもしれませんが、皆さんは一人ではありません。必ず周りの先生方が支えてくださいます。一人で抱え込まず、周りの先輩方を頼ってほしいと思います。私も周りに信頼されるような先生をめざします。一緒に頑張っていきましょう。

## 中学校

私は一年生を担当して、生徒たちの成長を間近で見られたことが教員をしていて何よりもうれしく感じています。学年全体としても、クラスとしても決して良いスタートが切れたわけではなく、協調性が足りないことから生徒指導をする場面も多々ありました。

一学期に班活動を行う時には、活動に参加しない生徒が目立つなど、担任としてどのように声かけをしたらよいのか悩む時期がありました。その生徒たちが目に見える形で成長してくれたのが体育祭、合唱コンクール、生徒会選挙などの行事でした。クラスとしての成長は行事を経験していくにつれ、より良いものを作り上げたいという気持ちが強く表れていました。教員が声をかけなくても、「自分たちが何をすべきか」を考え、行動してくれたことは担任として何よりもうれしいことでした。また、何度も生徒指導をした生徒がクラスの輪に入ろうと努力をし、人のために頑張ろうと生徒会選挙に立候補してくれたことは本当に感動を与えてくれました。皆さんにも是非、生徒たちの成長を間近で見てほしいと思います。

## 中学校

この一年間、毎日仕事に追われて、自分の至らないところにたくさん直面して、何度も悔しい思いをしました。うまくいったことよりも、できなかったことやうまくいかなかったことに目がいき、毎日落ち込みました。

しかし、私はこの一年間、落ち込んだ分と同じだけ周りの先生方から助言や激励をいただきました。また、毎日顔を合わせる生徒から、一日頑張る活力をもらいました。

今年一年で、教職は子どもと一緒に成長していける職業だと心から感じました。子どもたちが一生懸命頑張った成果や子どもたちが成長していく過程を間近に感じ取れることが他の職業にはない一番の魅力だと思います。

一緒に子どもの成長を見守れる人が豊能地区に増えることがとても楽しみです。

## 中学校

働き方改革が叫ばれている中で、教師という仕事は切り上げ時が見つからない職業だと改めて実感した一年でした。私自身それほど要領がよくなく、空いた時間で効率的に仕事ができずに遅くまで残っていたことも多くあります。しかしながら、その度に一緒に遅くまで残っている先生方から授業やクラス運営のヒントをいただくことができました。

多くの先生方が忙しそうにしている中、気後れせずに積極的に多くの先生とコミュニケーションを取ってください。そして、自分が困っていること、悩んでいることを相談してみ

てください。必ず他の先生方は助けてくださいます。

困ったら一人で抱え込まず、聞いてみる。雑談の中からもいろいろなヒントが得られます。是非、多くの先生方と積極的に会話してみてください。

## 中学校

豊能地区教員採用試験に合格された皆様、おめでとうございます。

初めて教育現場に立たれる方や、現場で経験を積まれて合格された方がいらっしゃると思いますが、四月からどんな教員生活を想像されていますか。私自身、この一年を振り返ると、正直しんどかったことや辛かったことがたくさんでできます。しかし、そのような時に生徒と何気ない会話をしたり、笑顔を見たりすると気づけばしんどいことも忘れていた自分がいました。しんどさは表に出せないけど、そんな時に限ってクラスみんなで笑いを共有できることを言ってくれたり、笑える出来事が起こったりして、しんどい表情が出る暇もないくらい笑顔にさせてくれました。だから、しんどい数は多かったかもしれませんが、その時の辛さは一瞬しか覚えていません。本当に知らない間に生徒たちに支えられていたなと思います。私のクラスは行事でなかなか成績を残すことができず、賞状をもらうことがなかったのも、唯一取れそうなペットボトルキャップ集めは一位を取ろう！と決め、前期・後期とも学年で一位を取ることができました。このように自分の大切な存在の生徒たちと過ごす時間は何でも思い出になるので、どんな思い出ができるか楽しみに過ごしていただきたいなと思います。また、四月から無理をしすぎず、身体を大切に頑張ってください！

## 中学校

学校には様々な悩み、課題を抱えている子どもたちがいます。子どもたちが安心して過ごすことができる学校づくり、学級づくり、環境づくりをすることが私たちの責任であると思います。やはり、一日の半分もの時間を学校で過ごすので、子どもたちには学校を楽しんでいる姿を見てほしいし、その姿を見ることができると私もうれしくなります。そのためには目の前の子どものことを一番に考えて、日々過ごすことが大切です。そうすると、授業研究や生徒指導、クラブ活動にも意欲的に取り組みました。

また、笑顔でいる先生には、自然と子どもたちも寄ってきます。笑顔になります。そのためにも、私たち教職員がまず楽しむことも大切かなと思います。先生の表情をみて過ごす子どもも中にはいますし、その表情一つで不安が募る場合もあります。私自身も以前は悩みがあっても強がって抱え込んでしまう性格でしたが、この一年で自分自身を見つめ直し、向き合っていたことで、少しはその性格も改善できたように思います。周りには沢山の先生方

がいます。そして、たくさん支えてくださる先生方がいます。悩んだり、困ったり、つまずいたりした時は素直に聞く、相談することを大切にしてほしいです。私も初心を忘れず、これからの教員生活を楽しまたいと思います。

## 中学校

初任としての一年は経験することが初めてということが多く、日々、追われている感覚がありました。そのような生活の中でも、私は笑顔でいることを大切に、目の前の子どもや周りの先生方に積極的に関わることを心がけました。そのためかどうかは分かりませんが、多くの子どもたちが自分の思いを伝えてくれたり、先生方からも状況に応じた助言をいただいたりすることができました。

みなさんもこれから日々忙しく、時には悩んだり落ち込んだりする時があると思います。先生という仕事は1年目であっても、2年目であっても子どもたちの人生に大きな影響を与える仕事だと思います。ぜひ、前向きに子どもたちとの関りを楽しみ、大切にしてください。子どもと一緒に成長できることはやっぱり嬉しいものだと思います。一緒にがんばりましょう。

## 中学校

日々、何かしなければならぬことに追われる1年間でした。初めての仕事ばかりで要領が掴めず、時には睡眠時間を確保することが難しい日もありました。精神的、身体的な疲れに気持ちが負けそうになることも少なくない1年間でした。

そんな中で自分のモチベーションを保つことができたのは自分自身の軸を確かに持っていただけでした。自分自身の軸とは教師をめざした志望動機です。自分は何がしたくて教師になったのかということ強く意識することで、忙しい日々の中でも自分なりにメリハリをつけてやりがいをもって働くことができました。

これからの1年間を過ごすにあたって、今一度自分の軸を強く持ち直してください。

## 中学校

これからの1年間、たくさん悩み、しんどい思いをすることがあるかもしれませんが、それ以上の楽しさが待っています。その楽しさを心の底から楽しいと感じられると本当にやりがいというものを感じられるのではないかなと思います。少しでも不安に思ったこと、疑

間に思ったことは、自分から他の先生にどんどん聞いていきましょう。教えてくれない先生はいないはずですよ。

これから何回も初任者研修に参加することになると思います。その中で、講師の先生が「分からないときは遊べ」と話されていました。本当にその通りだったかと今になって実感しています。何をしたらいいのか分からない時は子どもたちと遊んでみましょう。遊ぶことが嫌いな子どもはいないはずですよ。知らぬ間に子どもたちと良い関係性が築けていると思います。

これからの一年間、心の底から楽しんでください。

## 養護教諭

「わからないことがあれば何でも聞いてね。」「みんなで協力してやっていきましょう。」と、ちょうど一年前、不安でいっぱいだった私に対して職場の先生方や養護教諭の先輩の先生方が温かく優しい言葉をかけてくださいました。多くの人にたくさん頼り、支えてもらった一年でした。

これから健康診断や保健指導、保健室の来室対応・・・と忙しい毎日が続きます。困ったり悩んだりすることもあるかと思いますが、でも、必ず手を差し伸べてくれる仲間がいます。「一人ではない」ということを忘れずに。

## 栄養教諭

合格おめでとうございます。

栄養教諭に限らず、養護教諭、学校事務職員などの職種は学校の中だと孤独な気持ちになったり、学校で一人しかいないことに悩んだりする時もあると思いますが、豊能地区や大阪府には同じ職種の仲間がたくさんいます。

私自身、初任者研修で同じ職種の同期に合えることがモチベーションになりましたし、みんなの悩みを共有することで、一人じゃない、自分だけじゃないと思うことができ今があります。

なかなか難しいかもしれませんが、職場でも職場以外の場所でも自分から積極的にコミュニケーションを取って、たくさんの人とのつながりや出会いを大切にしてください。

## 学校事務職員

私は学校事務職員として働き始めて、学校事務職員の仕事は様々な面から学校を支えているとても重要な仕事だと感じました。業務が多岐にわたる分、必要となる知識も多く、大変さを感じることは多いですが、いろいろな場面でやりがいを感じることができると思います。私自身も学校行事に参加した際に、子どもたちが笑顔で楽しんでいる姿を見て、子どもたちの学校生活を支えられるこの仕事にやりがいを感じました。

また、学校事務職員同士の繋がりも強く、私も先輩方や他市町村の同期に助けてもらいながら仕事をしています。新規採用者の方々とも一緒にがんばっていきたいです。

## 学校事務職員

学校事務職員は単数配置が多く、業務について聞ける人が校内にいないと苦勞することもあります。しかし、研修等で他所属の職員と交流をもち、ネットワークを広げることで情報の共有をしています。

少数職種だからこそ、所属や職種関係なく、いろいろな人とコミュニケーションを図ることが大切だと思っています。